

道徳教育方法研究

第 24 号

2018

I. 研究論文

1. 道徳科評価の再考に向けての一考察

— 理論（評価の在り方）と実践の狭間で教師は何を模索するか —

今川 美幸

2. 「自由と責任」を考えさせる道徳授業の注意点と可能性

— 「うばわれた自由」の事例を手がかりに —

山口 裕毅
鈴木 篤

II. 実践研究報告

1. 児童が自己の成長を実感する学習の工夫とその効果の検討

— 道徳科におけるポートフォリオ評価法と「成長報告書」の作成を通して —

浅部 航太

2. 他者の視点で自己を見つめ直す道徳科学習指導

～人物の気持ちを想像する授業再考～

水上 栄一

III. シンポジウム 子どもたちの育ち（自己形成）と道徳教育

1. シンポジウムの資料

(1) 地域と学校での子どもの育ち

— 「地域の輪で育む子ども支援プロジェクト」を通して —

辻 雄二

(2) 子どもたちの育ちの現実と関わって

岸本 琴恵

(3) 子ども食堂に関わって

菅原 航太

2. シンポジウムのまとめ

上地 完治
加藤 英樹

IV. 課題研究 「考え、議論する道徳」の授業をどのように行うか
— 深く考える学びのプロセスに向けた多様な工夫 —

1. 課題研究の資料

- (1) 道徳科における深い学びの実現に向けた授業づくり
— ねらいとする価値への追求を見通す3つの視点の観点から —
眞榮城善之介

- (2) 「考え、議論する道徳」の授業をどのように行うか
— 深く考える学びのプロセスに向けた多様な工夫 —
古見 豪基

- (3) 「考え、議論する道徳」が「主体的・対話的で深い学び」となるために
杉中 康平

- (4) 「考え、議論する道徳」の授業をどのように行うか
— 「主体的・対話的で深い学び」とするために —
柳沼 良太

2. 課題研究のまとめ
小川 哲哉

V. 会務報告

VI. 日本道徳教育方法学会 会則

VII. 『道徳教育方法研究』投稿規定

VIII. 欧文サマリー

編集後記